揖斐郡学校保健会だより
令和6．7.16

令和６年度　揖斐郡学校環境衛生活動　特集号

令和６年度の「揖斐郡学校環境衛生調査」を、６月２８日に一次審査（書面審査）、７月１０日・１１日に二次審査（実地調査）を実施しました。

（１）揖斐郡学校環境衛生調査の目的

揖斐郡学校環境衛生調査は、

健全な子どもの育成を目指す環境衛生活動の充実を図るため、その実態を把握するとともに、学校及び地域社会の環境衛生への認識を深める

ことを目的に、実施しています。

（２）令和６年度の審査で大切にしたこと

令和６年度の学校環境衛生活動の審査では、特に

児童生徒が自ら生活の向上を目指し、日常で生じる様々な問題や欲求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力を身に付ける一役になる

学校環境衛生の取組が行われているかを重点に審査を実施しました。

（３）学校環境衛生調査の調査方法

① 一次審査（書面審査）　６月２８日（金）

県学校保健会のインターネット調査にデータ入力したファイルを、揖斐郡学校保健会事務局に送付し、送付された各校のデータの採点集計結果・当該年度の揖斐郡重点項目の取り組み状況及び各校より送付された「自校における学校環境衛生活動の取組の成果・課題と今後の活動への工夫や改善点」・「自校の学校環境衛生活動のＰＲ」をもとに文書審査を行い、４校の優秀賞校（最優秀賞候補）を決定しました。

② 二次審査（実地審査）　７月１０日（水）・１１日（木）

一次審査で選出された学校を郡薬剤師会会長、学校保健会担当校長（郡学校保健会担当校長、郡養護教諭部会顧問校長）、郡学校保健会事務局が訪問して二次審査（実地審査）を実施し、定期検査・日常点検・臨時検査の実施・児童生徒の活用状況等を審査基準に基づき評価しました。

（４）各賞の受賞校選定方法

令和６年度揖斐郡学校環境衛生調査による表彰校を次のように決定しました。

- １次審査会で選出された学校は「郡優秀校」とする。
- 優秀校のうち２次審査会で選出された学校を、「郡最優秀校」とする。
-

その結果令和６年度の揖斐郡環境衛生活動の表彰校が次のように決定しました。

最優秀校	（１校）	：	池田町立温知小学校	
優秀校	（３校）	：	揖斐川町立揖斐小学校	揖斐川町立北和中学校
			池田町立八幡小学校	
特選校	（３校）	：	大野町立中小学校	池田町立池田中学校
			大野町立大野中学校	

７校は７月３１日の郡学校保健研修総会で表彰

※令和４年度に最優秀校に選出された中小学校、池田中学校は令和５年度・令和６年度の特選校に、令和５年度に最優秀校に選出された大野中学校は令和６年度・令和７年度の特選校に、本年度最優秀賞となった温知小学校は令和７年度・令和８年度の特選校に無審査で選出されます。
（特選校も郡学校環境衛生活動審査の文書は提出していただきます）

郡学校環境衛生調査では表彰校や学校環境についての優れた実践を郡内に広め、揖斐郡の学校環境衛生の充実を図ることを目的としています。

本「揖斐郡学校保健だより」は各校に送付するとともに、７月３１日の郡学校保健研修総会の参加者にリーフレットと合わせて配付いたします。また「揖斐郡学校保健会ホームページ」にもアップしますので自校の学校環境衛生活動の向上にご活用ください。

揖斐郡学校保健会ホームページ　　http://www.ikedanet.jp/hokenkai/

（５）令和６年度　最優秀校・優秀校のよさ及び郡内に広げたい取組

	各学校の学校環境の取組のよさ・他校にも取り入れてほしい点・改善すると一層よくなる点
温知小 最優秀賞	● コロナから日常生活へ移行している中でも、衛生活動が継続できている。 ● 掃除では写真・イラストはもちろんプレゼン資料も作成できている。 ● 熱中症指数の予想と記録の掲示がある。 ● 教室環境が悪いことが分かっている教室は温度計他よく見える位置に設置して、すぐに改善できるようにしている。 ● 便座のどこが汚れやすいのか、見えないほこりや菌なども見える化して掲示してあり、その横にはトイレ掃除の仕方がイラストをいれて掲示してある。 ● トイレ掃除の仕方の動画を活用して、徹底がなされている。 ● 熱中症予報と毎時間の気温、暑さ指数が掲示され、自分の身は自分で守れる配慮がなされている。 ● 目で見て分かる掲示やプレゼンがあり、理解することでより意識が高まっている。環境がよくない教室で熱中症系が教室前面にあり、危機意識の高さが感じられた。 ● 熱中症指導の時系列の表示、気象庁発表の熱中症指導の予報が掲示されている。 ● 昨年度の学校環境衛生に関する職員研修の記録が残っているとよい。
揖斐小 優秀賞	● 次のボランティアの活動を自主的に行うように初回のボランティア活動を指導している。 ● ボランティアカードを有効に活用し、自主的にボランティアをしたいと活動する児童を増やしている。 ● 健康委員会の児童が全校児童の健康を守るために、歯磨きが正しくできるように動画を撮り、広めている。 ● 落ち着いた環境で運動会も学習できるように運動会の取組の中に机やトイレのスリッパをいれている。 ● 児童が主体的に取り組みたいと思ったことを取り入れている。（ボランティア活動、歯磨きタイムの手本など）子どもの声に委員会が反応している。 ● 薬剤師の先生から職員・PTA・児童への情報提供や指導などの連携が密である。薬剤師の先生からのタイムリーな情報提供が生かされている。 ● 基準を外れた場合のコメント・対応策を記入すると一層よい。 ● 掃除道具の整頓など写真があると誰もができるようになる。 ● 検査結果がよくない時がチャンスなので、何がどのようにという記録とその後の改善が記録されると一層よい。
北和中 優秀賞	● 目標が示され、目指す姿を明確にできている。 ● 改善案をすぐに実行している。 ● 薬剤師の先生と相談、指導を受けて机を窓側に移動させるなどすぐに対応できている。薬剤師の先生と連携していることがよく分かった。 ● 委員長の発表から自分たちの活動に誇りをもち、進んで取り組んでいることが分かる。生徒自身の環境や健康への関心が高まるように行事や委員会活動を上手に活用できている。 ● 生徒が主体的に取り組みたいと思ったことが取り入れられている。 ● 空き教室の整え方、換気の窓の開け方、ロッカーの入れ方がどの教室でも同じレベルで行われるように、組織的に態勢が整えられている。特に小学校はこうした点に学んでいけるとよいと思う。 ● 保健新聞が発行され、熱中症の取組など生徒主体の学校環境を良くしようとする取り組みが見られる。 ● 継続が課題であると言われたので、常に継続できる体制を整えられると一層よい。
八幡小 優秀賞	● 手洗い、うがいの意識づけのために、洗面台へ行く前の玄関から階段に掲示がされている。 ● 児童自ら安全に生活できるように発言し、アピールできている。 ● 縦割掃除が充実している。また掃除用具入れの整理の仕方がポイントをクローズアップして丁寧に示されており、だれもが整えられるようにしてある。 ● 校医や薬剤師の先生の来校や相談記録簿があり、特に薬剤師の先生との相談・指導を受けているのがよく分かった。薬剤師の先生に日常的に相談や指導を受け、環境を整えているのが分かる。 ● 委員長の発表から自分たちの活動に誇りをもち、進んで取り組んでいることがわかる。 ● 委員会数が削減されても環境衛生活動は変わることなく実施できるように引き継がれている。 ● 生活指導部での環境に対する取組の話し合いなど、教師集団で学校環境をよくしようとする取組が見られる。 ● 医師等の記録簿などでどんな指導を受けたのか、さらにはどのように改善したのかの記録を残しておくと一層よい。
総評	● 図・イラスト・表などを工夫して皆が必ずできるように工夫が年々できるようになってきており、コロナ後も衛生に気を付ける確認ができている。 ● どの学校も薬剤師の先生との連携がよくとれていると感じた。よりよい環境にするために、今あるものをどのように活用したり、改善したりするのか、養護教諭の先生を中心に知恵を絞り、工夫されていた。 ● どの学校も学校環境に対する取組を意識した日常の取組が意識されてきており、学校としての学校環境に対する PR ポイント、取組の成果が明確にされている。

（６）郡内各小中学校の学校環境に対する取組の成果及びPRポイント

各学校では次のような学校環境衛生活動に関する取組がなされ、成果を上げています。それぞれの学校の取組のよさに学び、揖斐郡としての学校環境衛生の取組を高めていけるとよいと思います。

	自校の学校環境衛生活動のPR	取組の成果・課題と今後へ工夫・改善点
揖斐小	児童環境委員会が中心となり、快適な学校環境を保つことができるよう、草取りボランティアやごみの分別収集、トイレスリッパ点検等を行っている。草取りボランティアは、多くの子が自主的に参加し、快適に過ごすことができるよう活動している。また、トイレのスリッパ点検も自主的に低学年にお知らせをし、気持ちよく過ごすことができるようにしている。	日常点検は児童の係として位置付いており、毎朝学級で実施している。さらに、一人一人の気付く目を育て、「自分の健康は自分で守る」ことができるように、意識を高めていきたい。
大和小	・児童健康委員会が行う毎朝の水質検査結果は直接養護教諭へ報告し、異常があった際にすぐに対処できるようにしている。検査結果から対処が必要であったことが複数回あり、児童は水質検査が全校の健康を守るために大切な活動であることを理解し活動することができている。 ・児童環境委員会による大掃除週間の取組は、毎日の取組重点箇所を設定して啓発したり、全校で学校をきれいにしていると実感できるような掲示物を作成したりするなど、どの学年も積極的に取り組めるよう活動を工夫している。	・教室環境の日常点検は係の児童だけの活動にならないよう、朝の会に位置付けて学級全体で確認し、不適合箇所はその場で改善している。環境衛生活動を全校で取り組むために、児童委員会の活動をより活発にしていきたい。 ・環境衛生検査が十分に実施できていない。昨年度、未実施の検査項目を減らすことはできたが、まだ適切な検査回数を満たしていないため、学校薬剤師と連携し、計画に基づいた検査の確実な実施に努める。
北方小	学校薬剤師の先生と一緒に検査を行い、改善点について気付いた箇所を共有し改善に努める。	〈 成 果 〉 ・日常点検では、各学級において毎授業日の気温・湿度の測定を記入を行い、夏季には熱中症予防、冬季には感染症の予防について、児童・教職員で意識し取り組んだ。 ・夏季にはWBGTの測定を、休み時間・体育時間・外での活動時間前に測定を実施し、外遊びや体育の中止、運動会練習の時間短縮の判断材料に活用でき、熱中症を未然に防ぐことができた。 ・冬季には、さまざまな感染症予防に向けて、加湿器の活用・換気の励行を児童・教職員に周知し、適切な環境保持に努めた。 〈 課 題 〉 ・定期検査の結果について学校薬剤師の先生から自校の課題について助言を受けながら、よりよい学校環境衛生が保てるよう全職員で周知し、意識の高揚を図る。
清水小	・朝、職員や日直（職員）が全館廊下の換気を行い、校内全体の空気を入れ替えることで、児童が活動しやすい環境をつくっている。 ・環境点検表を用いて、児童も当事者意識をもって教室の環境を整えています。担任や養護教諭も見届けを行い、朝から整った環境で活動することができるようにしている。 ・清掃活動中、教職員が巡回し、適切な掃除道具の使い方や掃除の方法について助言・指導を行うとともに、一緒に清掃活動をすることで、清潔な環境で生活することができるようにしている。	【成果と課題】 〇教室の換気・保温や採光・照度、飲料水の検査では、どの項目も基準値に適合し、児童は1年間適切な環境で活動することができた。 △音楽室のホルムアルデヒドの量、保健室の畳のダニの数については、定期検査を行うことによって、基準値を上回る状態であることが把握できた。 【工夫や改善点】 ・児童が活動する教室が、常に適切な環境であるように、日常的に気温や CO2 濃度、児童の体感を確認したり、Air-doc を活用したりして、教室環境を整備していく。 ・定期検査・日常検査を行う場所以外の水道水についても、校舎のどこの飲料水も安全に使用できるように、長期休暇明けにも水質検査を行う。 ・音楽室を使用する際は、よく換気を行う。また、保健室の畳については、日常的に電気掃除機でていねいに掃除をする。
小島小	児童会で掃除の仕方を児童集会で発表するなど、児童が主体的に環境衛生活動に取り組み、意識の向上を図っている。 また、FBC（フラワーブラボーコンクール）に参加するなど、花づくりや清掃活動を通して、豊かな心を育てて	毎日の教室環境点検や、毎月の施設安全点検を確実に実施し、適切な学習環境が保たれるよう努めている。 今後は、新たな視点で環境を見直していくことができるよう、学校保健安全委員会等でご意見をいただくな

	る。	ど、保護者や地域の方と連携を図る。
谷汲小	ICT の推進により、授業でタブレットや大型モニターを活用する機会が増えたことをふまえ、児童の視力を低下させないよう、教室内の環境面でも十分に配慮するようにしている。 日常の清掃活動については、児童の人数が少なく、担当する掃除場所が広いため、十分にきれいにできないことが課題である。そのため、掃除する人数が少ない場所では、効率のよい道具を使用している。また、掃除の方法については、高学年児童が中学校に訪問し、掃除時間の様子を参観して、中学生から掃除のやり方を学んだ後、全校に知らせて啓発した。3 学期には、各掃除場所の「掃除名人」として、よい姿の児童を生徒指導の「便り」に掲載したり、掲示物で知らせたりすることにより、全校児童の掃除への意欲や姿を高めている。	児童の環境に対する意識を変えていくことが大切であると考え、「美しい学校・美しい心づくり」を合言葉に、清掃活動を本校の教育の柱とした。月 1 回「整理整頓の日」を位置づけて、自分の身の回りを整頓したり、学習環境を見直したりする時間を設け、美しい環境が落ち着いた生活を作り出すことを体感させながら指導した。その結果、数年前まで机上に落書きをする児童が複数名いたが、現在はおらず、自分の机を大切にしようとしている。児童会活動としては、昨年度から中学校と連携して掃除の交流を行うことにより、よりよい掃除の方法を身につけることができた。また、本校は、運動場の草が生い茂ることが課題であったが、休み時間に、草ひきボランティアを募ったところ、多くの児童が参加し、教師と一緒に楽しそうに活動した。「自分たちの学校を美しくする」という気持ちが高まり、姿も高まってきている。さらに、自分達の活動の成果と課題を明らかにするために、児童会でアンケート調査を実施し、その結果をもとに活動を検討して、学校の環境を自分たちでより良くしていけるよう自治活動を推進しているところである。今後も、学習環境を整える活動を工夫しながら、継続していきたい。
春日小	日常点検に関しては、天気・温度・湿度の確認、水質検査や教室の環境点検など児童の活動として定着し毎日行っている。その結果を環境黒板に明示して知らせたり、全校朝の会で全校に知らせたりしている。また、学期に 1 回、掃除キャンペーンを位置付けており、普段の掃除の時間ではやり切れない、細かい場所を重点的に、さざれ石班(縦割り班)で分担して掃除をしている。大掃除では、掃除場所と、何を使ってどのように掃除するのかを全て自分たちで計画し、一人ひとりが“こだわり掃除”を行っている。	絨毯を使用した部屋(校長室、図書室、音楽室、ワークスペース)には、ダニの発生を抑制するために、月に1回ダニ防止スプレーをし、夏休みにはバルサンを焚いている。その結果、環境衛生検査でも判定が(—)と、一番良い環境の状態を保つことができている。しかし、音楽室でのホルムアルデヒドの数値が基準値を超えた結果となった。音楽室の使用前・使用中には窓を開けたり、使用していないときには常時出入り口の扉を開放したりし、3 階全体の換気をよくするなどの対策をしている。
大野小	冬季に、児童保健委員会の活動として、毎日、休み時間の全校の窓開け状態を確認し、換気タイムの音楽を流すとともに、換気の必要性や窓開けの状態を全校放送し呼びかけた。	・照度や黒板の検査、騒音、空気の検査等は、条件の悪い時に検査をし、基準を満たしていない箇所については、学級担任に伝え、配慮するようにしている。また、学校保健安全委員会で報告し、検討している。 ・すべての検査結果を全職員に伝え、学校環境衛生活動の意識を高める。 ・児童保健委員会を中心に活動し全校に広げる。
北小	①学校の教育目標具現のための3本柱の 1 つに「もくもく掃除」を位置付けている。学校全体で、取り組み期間を設定したり、発達段階に応じた目標をたてたりして、一人一人が美しい環境づくりに努めた。その結果、隅々まで美しくなるように、黙々と掃除をする姿が多く見られるようになり、気持ちのよい環境づくりができた。 ②児童に地球規模の環境への意識を高めるために、アルミ缶や牛乳パック回収、運動場の草取りなど、委員会活動やボランティア活動を通して SDGsの視点での活動を行った。	学校環境について、児童に身近なものとして捉えることができるように、毎日の気温・湿度・水質検査結果などの環境衛生検査結果を目に触れるところに掲示している。また、熱中症対策が必要な時期には、熱中症指数に関わる情報を全校に知らせている。そのことにより、高学年児童は、自分の健康は自分で守るという意識を高めることができている。 昨年度、全教室に二酸化炭素チェッカーと加湿器付き空気清浄機を設置した。年間を通じて、換気と二酸化炭素濃度と室内温度・湿度のバランスをとるために、毎授業時間ごとに二酸化炭素チェッカーの数値に着目して、換気を行い、気持ちの良い学習環境づくりを行っている。 二酸化炭素チェッカーを設置したため、二酸化炭素の定期の検査を1回にしたが、学校薬剤師の先生からのご指導で、定期検査は2回実施することと毎朝の二酸化炭素チェッカーの値を記録することにした。 プールの管理について、日常の点検が記録されていなかったので、記録するようにした。
西小	児童が行う委員会において、子どもたち自らで感染症対策につながる行動ができるように取り組んだ。特に本校では、換気に重点を置き、10月、12月、1月の3回にわたって換気調べを実施した。 委員会のメンバーである5・6年生が各教室へ行き、換気の状況を調べる、20分間の業間休みと昼休みに換気の大切さを呼びかけるなど、児童会だよりやパズルのピースを活用して工夫した活動を行った。 この活動には、こまめに換気をすることで、風邪やイン	学校薬剤師に指導を受け、学校保健計画に項目の記入をすることで、学校環境衛生検査の未実施の防止に努めた。 児童主体の委員会では、水質検査、手洗い場の清潔、トイレの清潔、石鹸補充、教室の環境調べ(温度、湿度、換気、清掃状況、明るさ、黒板、空気)ハンカチ調べ、手洗い調べ、換気調べ、掃除点検、掃除道具の点検、ごみの分別などの活動を行った。これらの活動を中心として、学校全体で学校環境衛生のための

	フルエンザ、新型コロナウイルス感染症などを予防し、みんなが休まずに学校に来てほしいという児童の思いが込められている。	行動につなげることができた。
中小	本校では、児童健康委員会を中心となり、学校環境衛生活動に取り組んでいる。毎日の環境調べの結果をホワイトボードに記入し、全校への啓発活動を行っている。 また、学校薬剤師の指導の下、学校衛生活動に対する調べ学習を行い、全校に発表を行っている。	朝の会における毎日の教室環境調べにおいて、全部〇にできなかったクラスの改善に向けての取り組みができていなかった。健康委員会の取り組みとして、できなかったクラスへの呼びかけや、できたクラス数のお知らせなどの全校への啓発活動を強化していきたい。
南小	児童会活動がより主体的な取組になることを目指している。特に、健康委員を中心に、衛生的な生活習慣づくりや、感染症予防等にも力を入れて取り組んできている。	・「気持ちのよい教室」にするために、各学級で換気・机・ロッカー・明るさ等の点検を児童全員で行い、よりよい環境づくりへの意識が高まりつつある。 ・委員会児童を中心に、環境衛生に関わるボランティアの実施やキャンペーンを通して全校でよりよい生活ができるよう取り組むことで、積極的に環境を整えようとする児童が増えつつある。 ・健康教育や性に関する指導を通して、身の回りを清潔に保ち、安全に生活できるとともに感染症予防ができるよう家庭と連携しながら、実践につなげた。継続して実践できるよう、定期的に見届けや指導を行っていきたい。
東小	・地域の方々とボランティアで清掃活動を実施している。 ・通常の清掃活動の時間のみでなく、ボランティア活動で校庭の整備や校舎内の清掃を実施しており、今後も環境衛生活動を継続していく。	・健康づくり委員会の常時活動で毎授業日の水質検査やトイレの手洗い場点検を実施している。 ・委員会活動で、大掃除週間を設定し、掃除ポイントを決めて活動している。
温知小	・生活委員会では、熱中症対策で、休み時間に全校放送で、教室の換気や水分補給、手洗いについて呼びかけている。（冬も、教室の換気、手洗いについて、全校放送して呼びかけている。） ・計画委員会では、全校に働きかけて、ボランティア活動として、運動場花 壇や中庭の草取り（1学期3回）を行った。冬には、落葉拾いを行った。 ・整美委員会では、年3回、長期休み前の大掃除週間には、掃除重点場所 を委員会で毎日放送して、隅々まできれいにすることの意識を高めている。	成果 ・実施すべき項目の検査が行っているため、引き続き学校薬剤師と連携して、実施したい。 課題 ・黒板面の摩擦については、張り替えの予算要望を出しているが、すぐに全て対応できないため、改善に時間がかかる。
八幡小	児童は、環境衛生面で困ったり、異常があったりしたときなどに近くの職員にすぐに相談・報告ができる。 職員も、定期検査の結果（ダニの検査など）を受けて、児童のためにどうすれば改善されるか一緒に考え、行動できる。また、日常点検などでも困ったときに声を上げ、協力し合える。	児童数減少に伴って、今年度から児童の委員会数を少なくした。各委員会の活動内容も見直し、手洗い場の石けんの補充やトイレのスリッパがそろっているかの点検などの活動を、保健委員会から整備委員会が任うことになった。以前行っていた保健委員が整備委員を気かけ、仕事ができているかどうかなど、声を掛ける姿がみられている。
宮地小	・全校児童64名と小規模校であるが、全校による清掃活動や運動場の草取りなど、児童の働きによって学校環境衛生を保持増進できるよう指導に取り組んでいる。	・「教室の近くに滝がある」「廊下や階段が全面カーペット」という特殊な環境であるが、定期検査の確実な実施と全校での清掃活動によって清潔で落ち着いた学習環境を保つことができている。 ・水道の数が多く、給排水系統図が複雑であるため、業者点検時に情報を追記し最新図に更新するとともに、日常の水質検査を確実に実施している。 ・全校が食堂で落ち着いて食事ができるように、給食配膳や片付けの指導を徹底している。
池田小	・環境衛生検査の結果を受けて、改善すべきところは迅速に教職員に周知 ・換気については、児童保健委員会の活動の一環として換気チェックを実施（休み時間に窓を全開にできているかをチェックする）	・教室環境の改善 1月に実施した換気及び保温等の定期検査において、二酸化炭素の数値は、1500ppm 以下が望ましいところ、測定結果が1200ppm であった。測定した教室は窓が開いておらず、廊下側のドアだけが前後10㎝ずつ開放してある環境だった。同日に測定した別教室では、窓と廊下側のドアが開いている環境で、二酸化炭素の数値が500ppm だったため、検査結果を比較したことで、換気の重要性を再認識することができた。
養基小	・保健給食委員会の児童が、毎朝、気温・湿度の測定と水質検査を実施し、掲示板への記録、お昼の放送で紹介をしている。	・学校環境衛生検査の計画一覧表を使用し、計画的に実施ができた。 ・一部の検査項目は、基準値を超えていたため、安全に使用できるように対策を講じていきたい。

		・一酸化炭素の項目で、未実施の内容があった。教室によって、暖房器具の種類が異なるため、器具に合わせて実施できるようにしたい。
揖斐川中	・揖斐川中学校生徒会の伝統を「伝統の3本柱」(思いやりの心・自治の精神・ひたむきな姿)と位置づけ、その中に健康委員の活動や環境委員の活動が含まれていることを生徒に意識させていくように工夫した。 例:時間まで集中して掃除を行う⇒ひたむきな姿 普段自分自身が使っている環境を整える⇒自治の精神 など	・本校では、環境衛生項目の「教室の日常点検」を、主に生徒会の健康委会が行っていおり、成果は、継続して点検活動を行っていることで、突然に、教室環境が悪くなることがないことである。課題は、活動が定型化していることが挙げられる。 ・活動の定型化を改善するために、健康委員会だけではなく、環境委員会の取組も環境衛生活動の一環とすることにした。
北和中	北和中学校では、環境委員会を中心にロッカーの整理整頓に力を入れています。昨年度、ロッカーの乱れが北和中学校の課題として挙げられました。そこから、生徒が主体となってロッカーを整える意識づけがされました。ロッカーが整っていることで、授業への姿勢にも変化がみられるようになった。	1 成果 令和5年年度の環境衛生は、学校薬剤師との連携をもとに概ねの検査を実施することができました。また、検査を実施した後は、結果と改善策をできるだけ早急に職員や生徒に還元するようにしました。環境衛生の結果によっては、職員だけが意識するのでは、改善が難しいことも多々あり、職員と生徒が一致団結して、よりよい環境を作れるように健康員会の活動を活用した。 2 課題 北和中学校のもっとも大きな課題は、結果から得られた改善策を継続することが難しいということです。薬剤師の改善策を、直ちに柔軟に対応できることは、北和中学校の良さでもありますが、継続することが難しい。
谷汲中	誰もが気持ちよく過ごせる環境づくりのために、本校の生徒会では清掃活動に力を入れている。「止めばき・角ぶき・黙働掃除」を重視しており、1学期には、谷汲小学校の児童会の児童に掃除の様子を見学してもらい、感想交流をした。また、2学期には、小学校5・6年生を迎え、一緒に掃除を行った。中学生が小学生の横について丁寧に教えながら黙々と掃除をする姿がみられ、お互いにとって刺激になり、掃除の在り方について見直す機会になった。令和6年度も同様に、小中の掃除の交流を行い、快適な環境づくりに努めていきたい。	生徒や職員が安心・安全に過ごせるように、校内の環境点検を行い、破損や異常個所がみられた場合、改善に努めた。また、改善が難しい場合は、業者に対応を依頼することができた。美しい環境を保持できるように、毎日の掃除でも、すみずみまできれいに行っている。 環境衛生検査で基準値を超えている項目については、学校薬剤師に指導を仰ぎ、改善方法について全職員に共通理解を図った。今後の活動として、生徒がより主体的に快適な環境づくりができるように、環境委員会の活動について今年度の取組を検討していきたい。
大野中	換気のルールやエアコン使用時の適正温度、ロッカーや机列の整頓等、目で見て分かるように写真等を使用して掲示をし、生徒自らが考え判断して行動できるようにしている。	熱中症予防のため、学校独自のガイドラインを作成して学校保健安全委員会で検討し、全職員に周知したり、携帯用の熱中症指数計を購入したりして、平日の活動や休日の部活動で予防が確実に行えるようにした。また、生徒会保健委員会の生徒が毎日、朝と昼に熱中症指数を測定し、掲示をしたり放送したりして予防の啓発を行った。 冬期には、換気のルールやエアコン使用時の適正温度等を掲示したり、CO2 モニターを設置したり、常時開放しておく窓に印を貼ったりすることで、生徒自らが判断して換気をする等、感染症予防のための行動を取ることができるようにした。 空き教室の環境整備のため、ロッカーや机列の整え方を写真で掲示したり、職員による空き教室チェックを行ったりした。
揖東中	・生徒環境委員会が大掃除を計画して行っている。また、掃除時間には、計画会と反省会を位置付けてカードを使用して振り返りをしている。	・エアコン使用時の換気方法や、感染症流行時の消毒など、学校薬剤師に相談し連携しながら行っている。生徒にも根拠をもって指導することができ、ルールが定着した。今後も連携をしていきたい。
池田中	教室日常点検は、生徒の委員会活動を中心に実施している。点検表には、生徒が点検して気づいたことを記入させ、こちらからもコメントを入れながら、教室環境の整備に努めている。	年間を通して、定期検査のすべての項目と日常点検を実施することができた。定期検査については、学校薬剤師と連携して丁寧に実施することができた。検査結果はすべて基準を満たしている。 現在、校内の老朽化による危険箇所もあるため、安全点検で確実に確認を行い、改善に努めていく。